

訪問薬剤管理業務の状況

(訪問薬剤管理業務を実施した件数)

◎訪問薬剤管理業務の保険請求件数

23年度	7,637
24年度	9,207
25年度	11,246
26年度	10,308
27年度	13,027
28年度	17,227
29年度	19,987

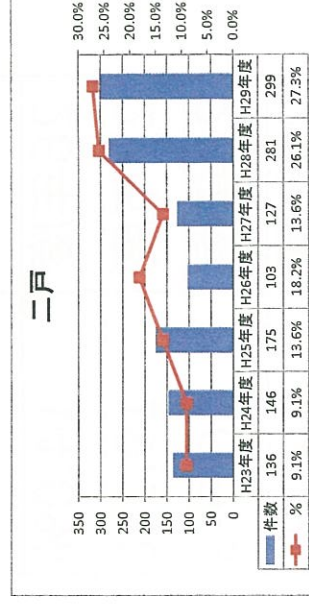
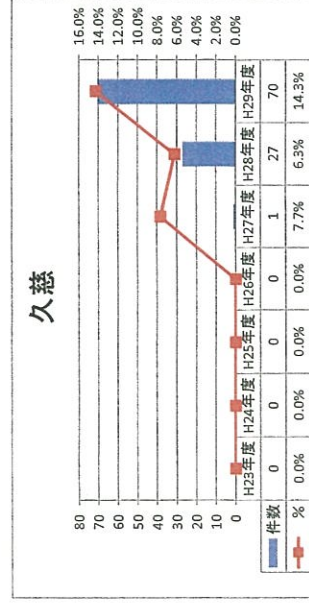
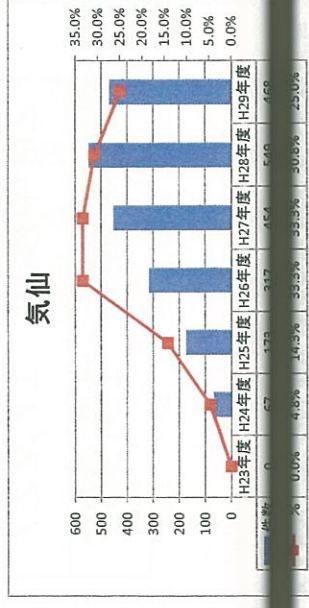
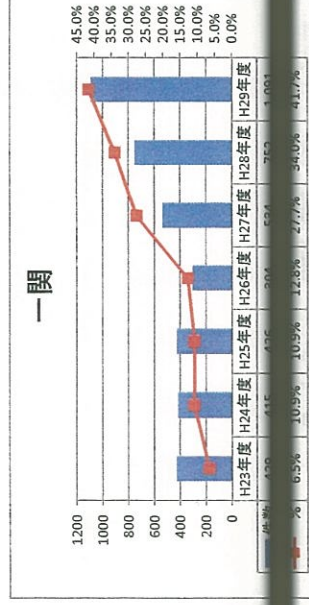
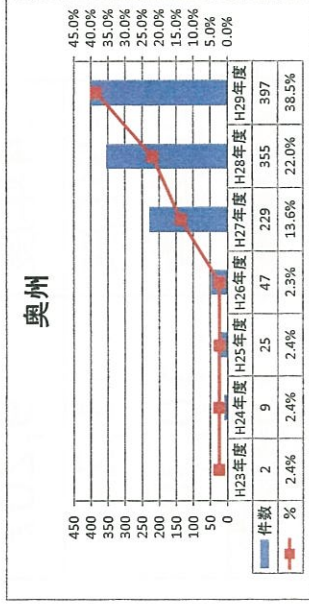
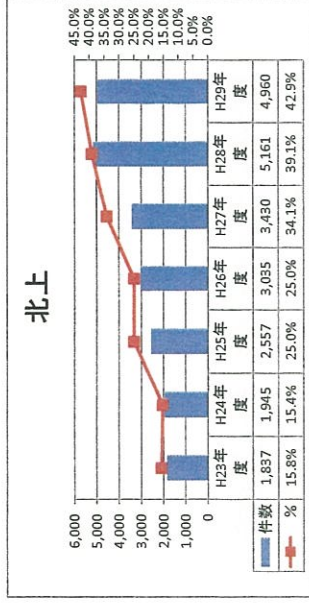
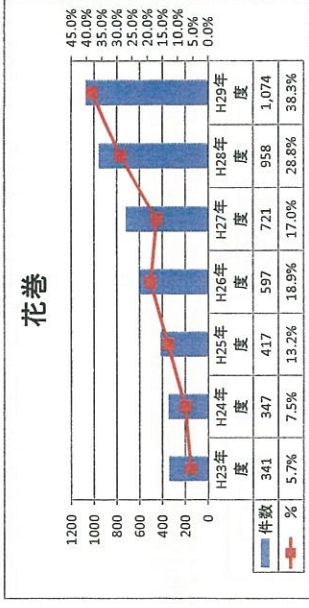
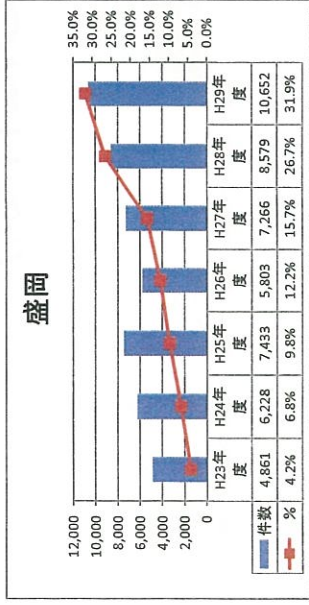
◎訪問薬剤管理業務を保険請求している薬局の割合

(訪問薬剤管理業務を保険請求している薬局数/地域毎の会員薬局数×100)

23年度	5.6%
24年度	7.5%
25年度	11.0%
26年度	14.0%
27年度	19.1%
28年度	26.9%
29年度	34.2%

訪問薬剤管理業務の状況

(訪問薬剤管理業務を実施した件数)



件数：訪問薬剤管理業務の保険請求件数（地域毎の総数）

%：訪問薬剤管理業務を保険請求している薬局数／地域毎の会員薬局数×100

薬剤師に 相談して下さい!!

利用者さん
のために

こんなこと
ありませんか?

- 一人暮らしで
薬の管理が出来ない
- 飲み忘れてしまう
- 何に効く薬かわからない
- 飲みづらい、飲んでくれない、
服薬の介助に時間がかかる
- 錠剤を潰して
飲んだら大丈夫?
- たくさんの種類を飲んで大丈夫?
飲み合わせは?



薬剤師は
こんなことが
できます!



薬の正しい飲み方
指導



薬の副作用や多くの健康
食品との「飲み合わせ」の
確認



「飲みにくい」薬を
他の薬への
変更検討

他にも...

- ご担当の介護支援専門員への薬の使用方法や留意点など情報提供の実施
- サービス担当者会議への意見照会、必要時の会議への参加
- 主治医への連絡、報告など

- 医師と連携して残薬を調整して調剤。
- 病院内や他の薬局で調剤された薬を一包化するなど。
(外来服薬支援)
- 居宅療養管理指導による定期訪問支援
(薬の一包化、管理についての助言、残薬確認など)※

※ 医療・介護保険制度を利用して、薬剤師の訪問サービスが受けられます。(介護保険の利用限度額には含まれません)

アセスメントシートをご利用ください!

- ④アセスメントの評価
- ⑤情報を基に介護支援専門員と支援について相談
- ⑥支援の実施



利用者

- ①利用者の抽出
- ②アセスメントに記載
- ③かかりつけ薬局へアセスメントを送付



薬剤師



介護支援専門員・かかりつけ薬剤師連携アセスメントシート

平成 年 月 日

薬局 行

事業所名

担当介護支援専門員

TEL.

() - () - FAX.

利用者氏名

生年月日 (明・大・昭)

様 年 月 日 (歳)

要介護度 要支援 1 ・ 2 要介護 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5

疾患名

医療機関名

主治医

生活状況 同居 ・ 日中独居 ・ 独居 ・ 施設入所 ・ その他 ()

【お薬の管理と服用について】

※該当する項目に○印

- 1 薬を服用していますか？ はい ・ いいえ ・ 不明
- 2 お薬手帳を持っていますか？ はい ・ いいえ ・ 不明
- 3 複数の医療機関から薬をもらっていますか？ はい ・ いいえ ・ 不明
- 4 薬の管理は誰が行っていますか？ 本人 ・ 家族 ・ ヘルパー ・ 看護師 ・ その他 ()
- 5 薬の管理方法はどのようにしていますか？ カレンダー ・ 薬箱 ・ その他 ()
- 6 薬を指示通りの方法で服用できていますか？ はい ・ いいえ

※ 6 で「いいえ」と回答された方へ

① 飲めない原因は何かあると思いますか？ ※該当する項目に○印

・ 飲み込めない ・ 服薬拒否 ・ 飲み忘れれる ・ 飲み込みにくい
・ その他 ()

② 薬を飲まなければならぬ理由を本人、家族は理解していますか？ はい ・ いいえ ・ 不明

7 残ったり、余っている薬がありますか？ はい ・ いいえ ・ 不明

8 薬について疑問を抱く、または服用に不安を感じることがありますか？ はい ・ いいえ ・ 不明

9 医師は本人の服薬状況を把握していますか？ はい ・ いいえ ・ 不明

10 日頃、気になる症状やお困りのことがありましたら記入してください。

以上のアセスメントを通じ、薬の管理等でご心配なことがある場合はこのシートをかかりつけの薬剤師までご送付ください。ご担当の介護支援専門員様と相談しながら必要な支援を行っていきます。

※本シートでご記入いただいた個人情報、「介護支援専門員・かかりつけ薬剤師連携業務」のみに使用し、他の目的には使用いたしません。

薬剤師がご自宅に訪問できる ことをご存知ですか？

薬剤師の訪問対応により

**改善した事例が
たくさんあります！**



訪問看護師と連携し、 服薬状況が改善

**男性86歳
(要介護1)**

次の診察日まで薬が足りなくなることがあったため、間違った飲み方をされている可能性を推察。

薬剤師 の対応

- ・訪問看護師と連携し、お互いの訪問時にお薬カレンダーに薬をセプト。
- ・定時服用の薬だけで症状が安定するように検討。

介護者の負担を軽減するとともに残薬を整理。 さらに医師との連携により緊急対応。

**男性82歳
(要介護2)**

ご本人は失明、在宅酸素療法を行っているが時々呼吸苦があり、また、夜間頻尿で本人も家族も眠れない。



夫婦二人暮らしで、奥様の介護負担が大きい(ご本人を残して奥様が外出することが困難。奥様以外に薬を受け取りにいける介護者家族がいない)。さらに、大量の残薬も確認。

薬剤師 の対応

- ・残薬を整理し、期限切れや中止薬を処分するとともに、使える薬は無駄にならないよう再利用した。
- ・一包化して、分かりやすく、薬ケースにセプト。
- ・訪問時に、病状が悪化していると判断し、その場から医師に電話して状態の報告を行った(すぐに医師の往診が行われた)。

薬の必要性を説明し、納得して 服薬できるようになった

**女性81歳
(要支援1)**



薬に詳しく、(薬の)添加物にも敏感な方。アレルギーが多く、飲めない薬がある。残薬が多く、自己判断で調節している可能性があった。

薬剤師 の対応

- ・訪問看護師と連携し、写真付きの説明書を用いて説明を行い、わかりやすく薬ケースで管理することへ納得してもらえた。

通院から在宅訪問へ切り替え。 安心して診療を受けられるように。

**女性84歳
(要支援1)**



夫婦二人暮らしで、夫婦ともに認知症。
通院時、医療機関・薬局で長時間の待ち時間があるが、ご主人が待っていられない(怒り出してしまつ)。

薬剤師 の対応

- ・薬剤師が患者宅に訪問できることを伝え、訪問することになった。
- ・待ち時間のない自宅では、本人も余裕ができて、今まで言えなかったことや聞けなかったことを話すようになった。
- ・患者とのコミュニケーションが良好になったことで、患者の状態に合わせた薬物療法の提供に繋がった。

患者に合わせた服用方法や 剤型を提案

**男性66歳
(要介護2)**



難病の影響で、手の振るえが強く、内服薬の開封や服薬に苦労していた。(一人暮らし、車椅子移動)

薬剤師 の対応

- ・薬を一包化し、服用時点ごとにセプト。
- ・開封を支援するオーナナーを設置。
- ・手が振るえるため散剤が飲みにくいことがわかり、医師に錠剤への変更を提案。

施設職員と連携し、 安心できる環境を構築

**男性87歳
(要介護2)**

施設に入所されている方。
施設には薬に詳しい職員がいない。

薬剤師 の対応

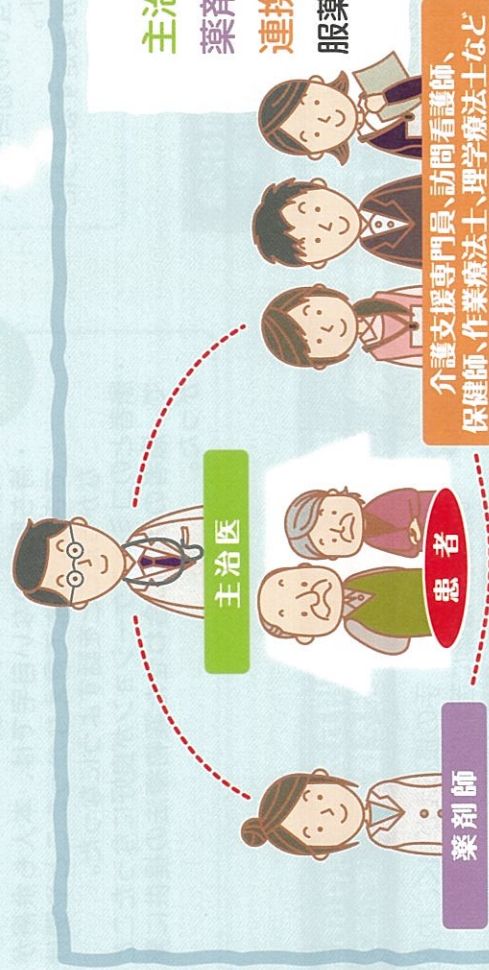
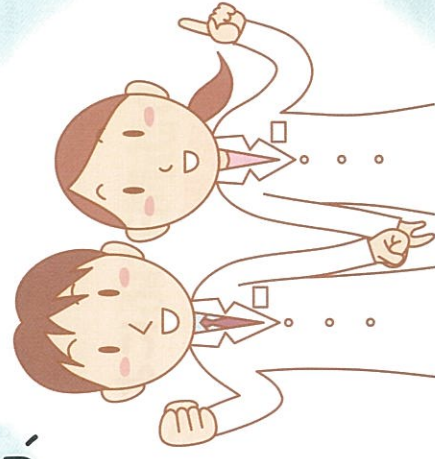
- ・薬剤師が施設に訪問できることを伝え、訪問することになった。
- ・薬の管理方法を提案することへ、間違った飲み方が改善。
- ・施設職員が困った時に気軽に連絡できる関係を構築し、職員が安心して薬に関われるようになった。



「訪問薬剤管理指導」は、医療保険や介護保険による一部負担金が発生します(1割～3割負担)。
詳しくは、「かかりつけの薬局(あなたの頭に浮かんだ薬局)」にお問い合わせください。

～ 薬剤師による「訪問薬剤管理指導」のご案内 ～

通院困難等の理由により、ご自宅等で療養を行っている方が増えてきており、「薬の管理ができない」「薬が飲めないことがある」など、薬に関する相談が多くなってきています。「訪問薬剤管理指導」は、その様な状況に対応するため、薬剤師が直接療養の場を訪問し、薬の管理や説明を行うことです。個々の問題点等にきめ細やかな対応を行いますので、是非ご活用ください。



主治医の指示のもと、
薬剤師とさまざまな職種が
連携して患者さんの
服薬管理を支援します。

在宅訪問可能な 薬局はコチラ!

- 1 岩手県薬剤師会 検索
- 2 トップページ / 「在宅訪問可能薬局」をクリック



- 3 当会「在宅訪問可能会員薬局リスト」からご確認ください



「訪問薬剤管理指導」は、医療保険や介護保険による一部負担金が発生します(1割～3割負担)。詳しくは、「かかりつけの薬局(あなたの頭に浮かんだ薬局)」にお問い合わせください。